

令和6年6月定例市議会提出案件について

補正予算関係

一般会計・特別会計 補正予算総額 4,339,709千円
【債務負担行為 860,327千円】

主な内容

- (1) 寄附金を財源として「和歌山市こども未来基金」を設置します

186,316千円【子育て支援課】

本市に住まわれていた故人の方からの寄附金を財源として「こども未来基金」を設置し子供の健やかな成長を育み、輝かしい未来を支えるための事業に活用していきます。

- (2) 竜王戦和歌山対局開催事業

「和歌山市こども竜王戦（仮称）」等の交流事業や和歌山市の魅力発信を行います

(こども未来基金活用)

13,400千円【文化振興課】

第37期「竜王戦」七番勝負の第5局が、令和6年11月27日（水曜日）・28日（木曜日）の2日間にかけて、和歌山城ホールで行われることが決定したことに伴い、実行委員会に対して交付金を交付し、子供たちの参加型イベントの開催により次世代を担う子供たちの育成や「将棋」に触れる機会を創出するとともに、「勝負めし」等のPRにより市産品など、本市の魅力を発信します。

- (3) こども未来ギフト事業 すべてのお子さんの誕生をお祝いします！

(こども未来基金活用)

10,559千円【子育て支援課】

令和6年4月1日以降に出生した新生児のある世帯に出産のお祝いとして、すべての子供たちの健やかな成長を願い「医食同源米」若しくは「木のおもちゃ」を贈呈します。

- (4) 市民図書館図書充実事業 子供や若者向け図書の充実により読書活動を推進

(こども未来基金活用)

9,588千円【読書活動推進課】

市民図書館（西分館含む。）、移動図書館の子供や若者向けの図書を充実させ、読書活動を推進します。

(5) 不登校生に寄り添った校内教育支援センターの設置

3, 987千円【学校支援課（子ども支援センター）】

不登校生徒全ての学びの場の確保と不登校の未然防止に向け、学びたいと思った時に学べる、学びが継続できる居場所の1つとして、校内教育支援センターを設立します。

(6) テレビ番組のロケを和歌山城で行います

570千円【和歌山城整備企画課】

テレビ東京系列「緊急SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦」のロケの誘致により、和歌山城の北堀で、一般参加者を募った堀内の清掃などを実施し、堀の再生を目指します。

(7) 和歌山市のナイトタイムコンテンツをさらに充実

41, 536千円【和歌山城整備企画課】

大手門から二の丸にかけて演出機能のあるライトアップ設備を設置し、ライトアップされた西之丸庭園の視点場まで光の動線をつくります。御橋廊下東側の芝生広場をライトアップ期間にイベント等に貸し出し、民間のイルミネーションイベントと連携することで、ナイトタイムエコノミーの推進を図ります。

(8) 和歌山北インターチェンジのフルインターチェンジ化に向けた効果検討

4, 500千円【道路政策課】

北進方面のみのハーフインターである和歌山北インターチェンジについて、更なる企業誘致など地域活性化に資するフルインター化により期待される効果等の検証を行います。

(9) 川永・紀伊地区の地域バス 実証運行から本格運行へ

4, 815千円【交通政策課】

令和4年度及び令和5年度の実証運行の結果、一定の利用が見込まれることから、川永・紀伊地区において地域バスを本格運行し、地域公共交通ネットワークの構築を図ります。

(10) 市駅前市街地再開発事業の推進

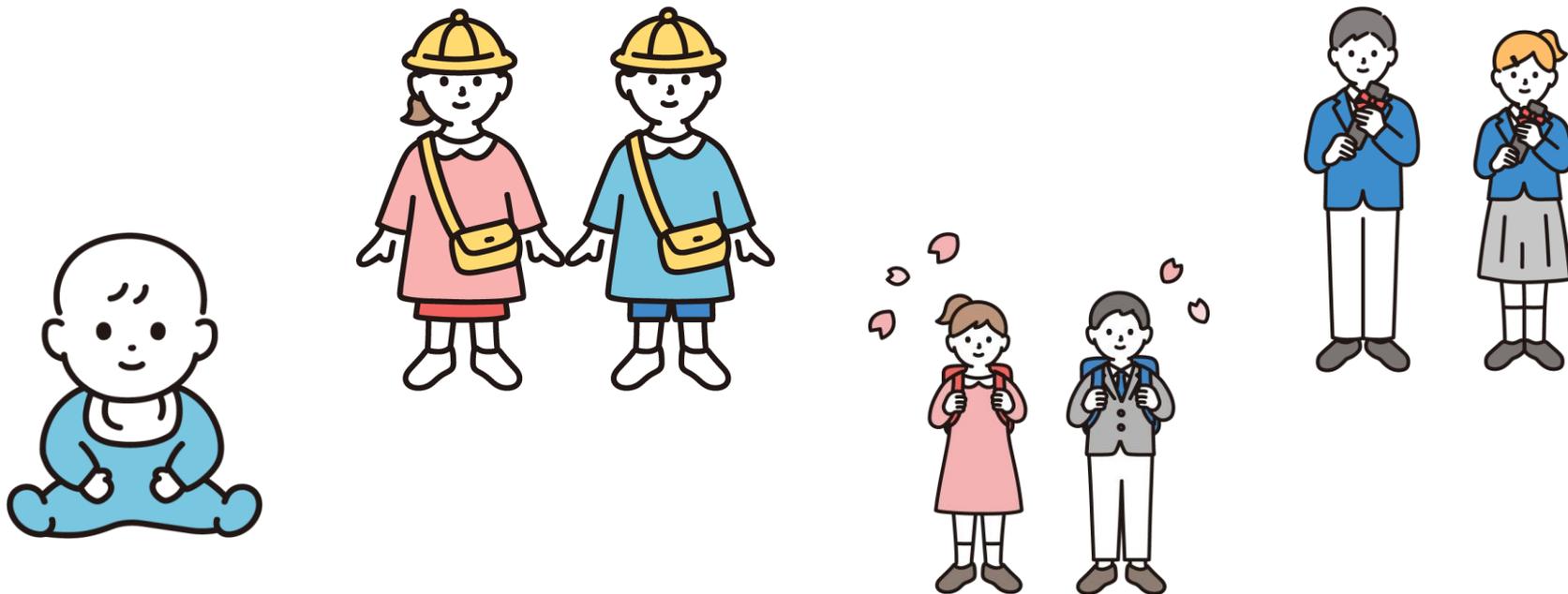
6, 578千円【都市再生課】

和歌山市駅前南地区において市街地再開発準備組合が設立されたことから、準備組合に対して補助金を交付し、市街地再開発事業の事業化に向けた支援を行うとともに、市街地再開発事業を実施することによる費用便益分析及び税収効果評価を実施し、事業効果の分析を行います。

寄附金を財源として『こども未来基金』を設置

【事業費】 186,316千円
(寄附金 186,244千円、利子 72千円)

本市に住まわれていた故人の方からの寄附金を財源として「こども未来基金」を設置し、子供の健やかな成長を育み輝かしい未来を支えるための事業に活用していきます。



「和歌山市こども竜王戦（仮称）」等の交流事業や 和歌山市の魅力発信を行います

【事業費】 13,400千円

第37期 竜王戦 第5局和歌山対局の誘致を記念して、こども未来基金や企業版ふるさと納税等を活用し、関連事業を実施します。

● 和歌山市こども竜王戦(仮称)の実施

こども将棋大会等の交流事業を実施し子どもたちが日本の誇るべき文化のひとつとして「将棋」に触れるきっかけを創出。優勝者は前日の交流会で対局者に花束の贈呈を予定しています。

● シティプロモーションの推進

「勝負めし」等の市産品やイベントのPRにより、本市の魅力を発信します。

第37期

竜王戦

第5局 和歌山対局

<日 程> 令和6年11月27日（水）・28日（木）

<会 場> 和歌山城ホール 和室

<対局者> 藤井聡太竜王 対 挑戦者

<主 催> 読売新聞社、日本将棋連盟



すべてのお子さんの誕生をお祝いします！

【事業費】 10,559千円

令和6年4月1日以降に誕生したすべての子供たちの健やかな成長を願うとともに、未来を応援し、『**医食同源米**』若しくは『**木のおもちゃ**』を贈呈します。

【**金芽米**】



【**医食同源米**】



【**木のおもちゃ**】



子供や若者向け図書の充実により読書活動を推進

【事業費】 9,588千円

市民図書館・西分館・移動図書館の子供や若者向けの図書を充実させ、読書活動を推進します。

【児童書・中高生向けの図書を約6,000冊購入】

■ 団体貸出図書（子供たちの読書意欲向上）

市民図書館から小・中学校へ貸し出す団体貸出図書を幅広く購入し、学校の図書室や学級文庫を充実させ、市民図書館と学校との連携を強化します。

■ 市民図書館（子育て世代や若年層への読書推進）

主にこどもとしょかんの児童書、ティーンズ図書（中高生向け）や若者向け一般図書の蔵書を充実させる

■ 西分館

児童・子育て世代に重点：児童書の蔵書を充実

■ 移動図書館

小学校21校巡回：児童書を充実し利用率向上



不登校生に寄り添った校内教育支援センターの設置

【事業費】 3,987千円

不登校生徒全ての学びの場の確保と不登校の未然防止に向け、学びたいと思った時に学べる、学びが継続できる居場所の1つとして、現在各校で不登校支援を行っている適応指導教室等を充実させ、校内教育支援センターを設立します。

【市立全17中学校と義務教育学校1校で環境整備】

① パーテーション等で個別学習スペースを設置

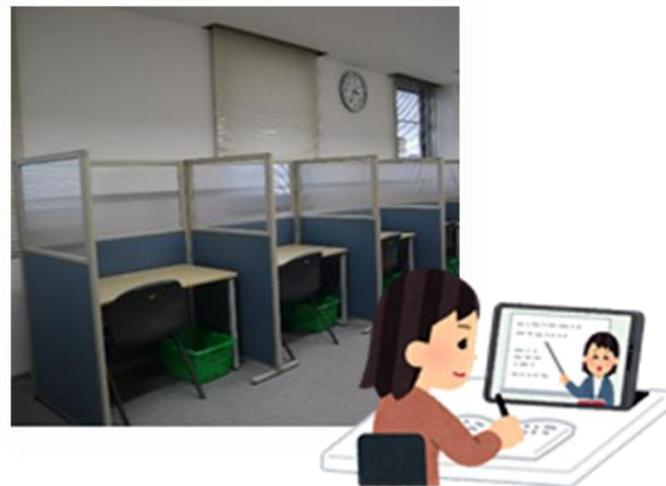
生徒のニーズに沿った学習環境が選択

② ポケットWi-FiによるICT環境の整備

教室からの授業配信等による学習

③ 校内教育支援センター担当者への研修

④ 子ども支援センターと連携



和歌山城公園管理事業（TV番組のロケ誘致）

テレビ東京系列「緊急SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦」のロケを和歌山城で行います

【事業費】 570千円

テレビ東京系列「緊急SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦」のロケの誘致により、和歌山城の北堀で、市民をはじめとする一般参加者を募った堀内の清掃などを実施し、堀の再生を目指します。

【目的】

和歌山城北辺櫓群の復元に向けた石垣下層部の状況確認

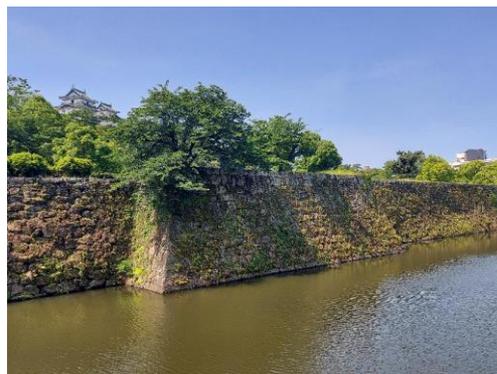
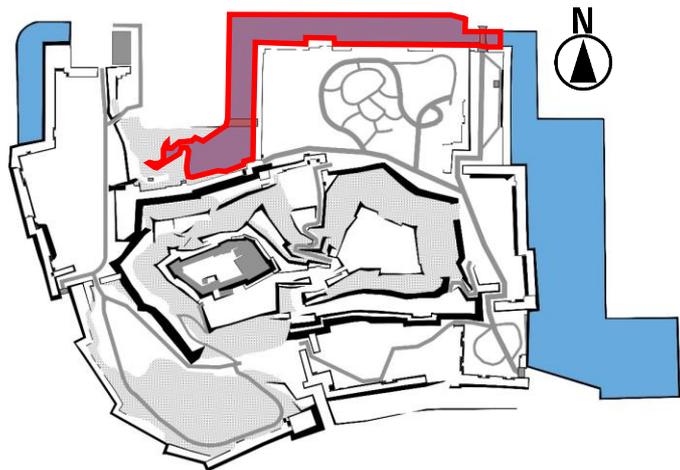
汚泥堆積の状況確認、生態系の回復、和歌山城の全国に向けた発信

ボランティア登録
についてこちらから



堀内の清掃などに参加頂ける方は、和歌山市へのボランティア登録をお願いします。

水を抜くエリア(約9400㎡)



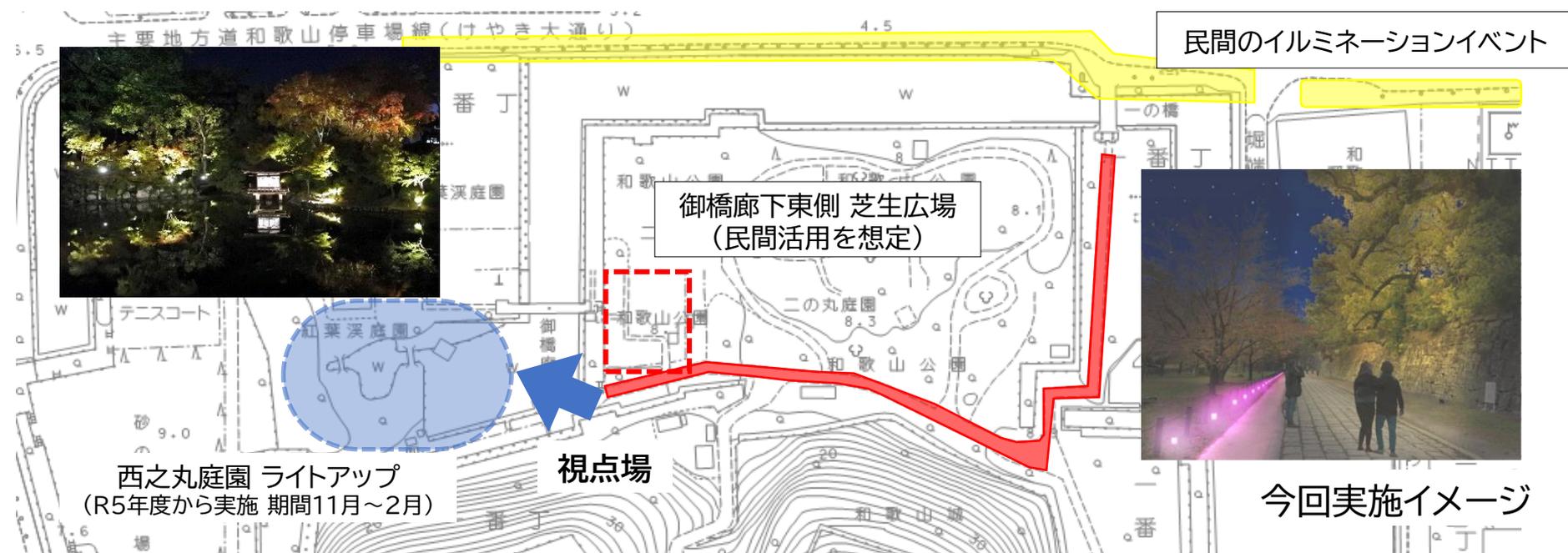
復元を目指している北辺櫓群

和歌山城公園ライトアップ事業

和歌山市のナイトタイムコンテンツをさらに充実

【事業費】 41,536千円

大手門から二の丸にかけて演出機能のあるライトアップ設備を設置し、ライトアップされた西之丸庭園の視点場まで光の動線をつくります。御橋廊下東側の芝生広場をライトアップ期間にイベント等に貸し出し、民間のイルミネーションイベントと連携することで、**ナイトタイムエコノミーの推進**を図ります。



和歌山北ICのフルIC化に向けた 効果検討を行います

【事業費】 4,500千円

現在、北進方面のみのハーフインターである和歌山北インターチェンジについて、更なる企業誘致など地域活性化に資するフルインター化により期待される効果等の検証を行います。

【調査内容】

● 広域物流ネットワークとしての在り方分析

● 周辺施設がもたらす
交通影響の分析

● 災害時における防災
ネットワーク強化に関する分析



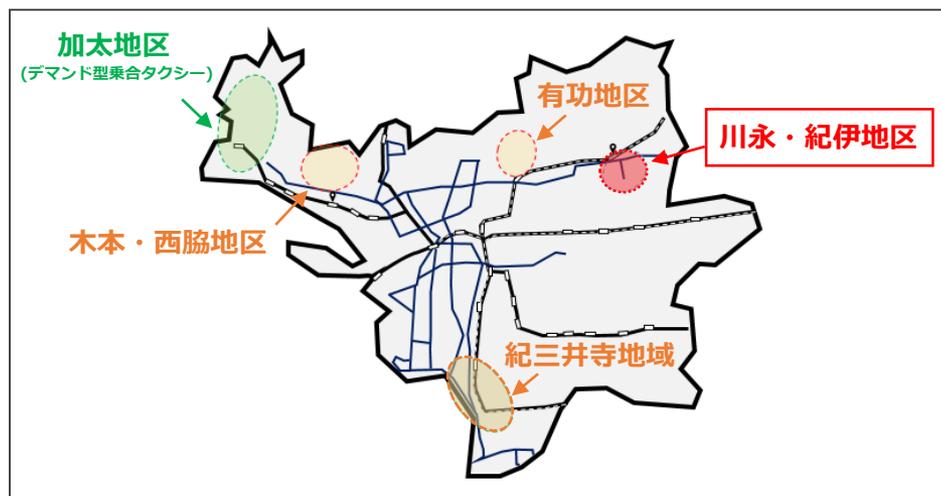
川永・紀伊地区の地域バス 実証運行から本格運行へ

【事業費】 4,815千円

- 「**川永・紀伊地区**」において、令和4年度及び令和5年度の実証運行の結果、**一定の利用があり、持続的な運行が見込まれることから、地域バスを本格的に導入します。**
- 地域が主体となって運営する「地域バスの本格運行」に対して市が支援を行い、**地域の特性に応じた交通ネットワークの構築を図ります。**



地域バスのイメージ



地域バス・デマンド型乗合タクシーの市内分布図

市駅前市街地再開発事業の推進

【事業費】 6,578千円

和歌山市駅前南地区において、令和6年4月に市街地再開発準備組合が設立されたことから、準備組合に対して補助金を交付し、**市街地再開発事業の事業化**に向けて支援します。併せて、市街地再開発事業を実施することによる費用便益分析及び税収効果評価を実施し、事業効果の分析を行います。

【これまでの主な経緯】

- ・ 令和5年3月：まちづくり協議会設立
（その後全7回協議会開催）
- ・ 令和6年4月：準備組合設立

【今後について】

・ 和歌山市駅前地区再開発（キーノ和歌山、市民図書館）、旧市民会館、市堀川かわまちづくりや周辺の様々な施設と連携し、和歌山市駅前周辺のさらなるにぎわい、交流の創出や都市機能の充実を目指して検討を進めます。

